

「当院における喘息患者の通院自己中断の危険因子の解析」に対するご協力をお願い

研究担当者：呼吸器内科 濱中 良丞

研究責任者：呼吸器内科 重永 武彦

1. 対象

2012年1月1日から2022年12月31日までの期間で、当院呼吸器内科における喘息で通院された全患者様を対象とします。

2. 研究内容

- ・研究名 喘息患者の通院自己中断の危険因子

- ・承認番号：第 280 号 (令和 5 年 / 月 27 日)

- ・本研究の意義

喘息発作では死に至ることがあり、症状がないときも治療を自己中断しないことが重要です。しかし、自己判断で通院や服薬を中断した経験のある気管支喘息の患者は、4割以上と報告されています。しかし、どのような患者が中断のリスクがあるのか検討した研究報告はなされていません。本研究では、喘息患者において通院を自己中断している患者と通院を継続している患者の背景を比較し、自己中断に関連する因子を明らかにすることを目的とします。このことで、今後の診療の質向上並びに患者のコンプライアンスを効果的に維持することが期待できます。

- ・協力をお願いする内容

新たに何らかの協力・負担をお願いすることはありません。すでに電子カルテ（診療録）に入力されている内容を抽出し解析に用います。

- ・本研究の実施期間

倫理委員会承認日～2023年12月末日（予定 解析終了まで）

3. 本研究における倫理的配慮について

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう慎重に取り扱います。また、本研究実施に際して年齢、性別、患者番号以外に個人を特定できるような氏名、生年月日などの情報は解析の対象とはしません。

4. 利益相反

本研究の実施に関して利益相反のある企業や団体などはありません。

5. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご希望がありましたら下記までご連絡ください。

研究担当者 濱中 良丞

日本赤十字社大分赤十字病院 呼吸器内科

電話 097-532-6181（施設代表）